

「なるほど…噂のペンで私の人格を改変したのね
確かに精液を浴びたくて仕方ないわ
さあ好きなだけぶっかけて頂戴」

精液でキモチ
よくなります

ぶっかけ希望



「そう…私の裸をオカズにしてオナニーすればいいわ
でもぶっかけ以外は許さないわよ
もし変なことしたらすぐ警察を呼んでやるわ」

（ペンで意識を改変されたとわかっていても…
精液をぶっかけても貰いたい気持ちに逆らえない…
早く…早くいっぱいぶっかけて…♡）

精液でキモチ
よくなります

ぶっかけ希望



「ちよと……汚いモノ近づけないでよ……！
何？もう出そうなの……それならそう言いなさい
ぶっかけるためならいくらでも近づいていいわ……
出そうなのね……出して……出しなさい……！
私の身体にいつぱい……んん……！……！」

精液でキモチ
よくなります

望みかけ



「ふっふっふっ……んっ……気持ちいいわぁ……♡
本来の私ならこんな汚いもの絶対に触れたくもないんだけど
ペンで意識を改変したからすっごく気分がいいわ
どう？こんな変態みたいなことさせてあなたたちも
いい気分なんじゃないの？」

精液でキモチ
よくなります

望みかけ

「ん……またペンを使うのね
今度はどんなことを書くつも……り……」

精液でキモチ
よくなります

望みかけ

「なっ……！……？なんだこれはっ……？
うっ……臭いっ……！……き……汚いっ……！……
クッ……どうしてこんなことに……！」

精液でキモチ
よくなります

望みかけっ



「そつだ……！思い出したぞ……
お前たちが例のペンで私をいいように操つて……！
んっ……ぐっ……身体が……動かないっ……！！
こんな辱め……くそおっ……！！！」

精液でキモチ
よくなります

望みかけがっ



「やめ…ろっ…!!これ以上私に何をさせようと…!!
ぐっ…臭いっ…早くこれを洗い流してくれ!!
ニオイが…なっ…やめろ!そんなことを書くな!!
そんな卑猥な模様の…うっぐ…!!
これで何が変わるというんだ…!!」



「こんな卑劣な真似をして…覚えておけよ…!!
正氣に戻ったなら絶対にお前たちを……!!」



精液でモモチ
よくなります♡

臭
ザーン
染みませ♡

っかけ希望♡
ザーンでイキま♡



「んはあっ…はあああ…っ…♡♡♡
ああああんっ♡ザーメン臭い♡オイオイっ♡♡♡
すうーっ♡はあーっ♡♡♡すーっ♡♡♡
んほあああ…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
チンポっ♡チンポ勃起してるじゃないか♡
はやくシ〇って♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
私にもっ♡ぶっかけてえ♡♡♡♡♡♡♡♡♡
たのむっ♡♡たのむっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡」



「おっ♡おっ♡オカズにされてるうっ♡♡♡
チンポにロックオンされてるうっ♡んっ♡ふうーっ♡♡
おおっ♡やばっ♡♡このぶっかけられ待ちの
状態超興奮するうっ♡♡ふーっ♡んふーっ♡♡」



「おほおおおおおおおーっ♡きたっ♡きたあああっ♡
チンポっ♡射精いい♡♡ザーメンっ♡ザーメンっ♡♡」



精液でキモチ
よくなります♡

ザーメンにま

希望♡
かけ♡
ザーメンでキモチ♡



「はっ♡あふっ♡♡んはへへへっ♡♡♡♡
だめだあっ♡♡ザーメンが肌にこんなについてると
ずっとイキっぱなしだあっ♡♡♡んへへっ♡♡♡
どうだあっ♡♡お前達好みの変態に
仕上がっただろうっ♡♡♡んへへっ♡♡♡
チンポ勃起するだろっ♡♡♡
だったらもっともっと私にいつ♡♡♡
ザーメンをぶっかけてくれっ♡♡♡
ザーメン臭が常にするっ♡♡♡
ザーメン女にしてくれえっ♡♡♡」

